

具体的な質問例と見ている観点

1 過去【軸・根っことなる価値観は何か】

①これまでの人生の中で、どんな軸のもと選択を行ってきたか。

<例>

- ・なぜこの大学に行こうと思ったのか。
 - ・就職活動での軸は何だったのか。
 - ・今までの人生で一番苦労したことは何か。
何が難しくてどう解決したのか。
 - ・自分の行動を決める判断基準となったきっかけ・出来事は何か。
- ※小中高時代までさかのぼって、エピソードを聞くこともあります。

質問を通して、**思考の深さ(一貫性)・内省性・向上心**を見ています。

- ・思考の深さ：選択の軸に自分の想いがあるか。
その場限りではなく、考えて決断してきているか。
- ・内省性：経験を振り返り内省し、次に活かすことができるか。
- ・向上心：成長に対しての欲求の強さ。困難・壁を機会と捉え、
変化・成長ができるか。

2 現在【仕事において、あなたのこだわりは何か】

②こだわりをもって仕事に取り組んでいたか？

<例>

- ・仕事で1番頑張ったことは何か。（目標・実績・期間など具体的に）
- ・課題と感じたことはどのようなことか。その課題に対して
どのような行動をとり解決したのか。あなたが介在することで
どれほどの変化が生まれたのか。
- ・一連の取り組み(PDCA)を振り返って、自分の強みは何か。
- ・モチベーションの源は何か。苦しいときもどうして諦めず頑張れたのか。

質問を通して、**エネルギー・主体性・再現可能性**を見えています。

- ・エネルギー：自分でゴールを決めて走り抜くことができるか。
掲げた目標を口だけでなくやりきることができるか。
- ・主体性：課題を他責ではなく自分のこととして捉えることができるか。
- ・再現可能性：成功体験が偶然ではなく、環境が変わっても再現可能かどうか。

3

※最終面接時に深掘りされます。

未来【将来どう在りたいか】

③今回の転職を通して、何を成し遂げたいのか。

<例>

- ・転職のきっかけは何か。
- ・転職の目的は何か。何を実現したくての転職なのか。
(リクルートキャリアというフィールドを使って、
いつまでにどうなりたいか。具体的にお話ください。)

質問を通して、**視座の高さ・覚悟感**を見えています。

- ・視座の高さ：転職の目的が自己成長・目標達成など
自分のことだけを考えているのではなく、
顧客の事業成長・社会問題解決など
顧客視点でも考えることができているか。
- ・覚悟感：誰かに転職しなさいと言われて始めるわけではなく
転職活動。転職の目的にああなたの意志があるか。

【過去NG例】

- ✓ 他責性が強い
- ✓ やりきった経験がない
- ✓ こだわりが感じられない
- ✓ 自分軸でしか考えていない
- ✓ アウトプットが抽象的

リクルートキャリアが大切にしている3つのValue

①昨日を超える（成長意欲）

昨日を超える一歩を踏み出し、自分でゴールを決めて結果にこだわり最後までやり遂げる

②圧倒的当事者意識（主体性）

何ごとも我が事としてとらえ自らの責任で考え行動する

③社会起点（顧客志向）

できるだけ広く・深く・長い視点で「何のためにやるのか」という目的を描く



素直さ

スピード感

変化対応力

面接官が聞きたいのは結果ではなく、 ピラミッドの下2つ（思考と行動）です。

すべての成果・結果にはそれに基づく行動があります。
その行動をとるに至るまでには、思考や計画があります。

どういう思いでその業務に取り組んだのか、
あなたの根っこにある思い・エネルギーを面接官は知りたいと思っています。

※年次によって求めるレベルは変わります。

強みや弱み含めて、どこまで具体的な言葉で話ができるかがポイントとなってきます。

